

# 中学校 総合的な学習の時間 部会

部会長名 赤村立赤中学校 校長 荒川 正史  
実践者名 川崎町立川崎中学校 主幹教諭 犬丸 成美

## 1 研究主題

進路実現のための3年間の系統学習について

～第1学年「職業調べ」・第2学年「高校調べ」「職業人に学ぶ」・第3学年「職場体験学習」を通して～

## 2 主題設定の理由

### (1) 社会の状況から

近年、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ないAIの技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測困難な時代を迎えている。身近な大人に生き方を学ぶべきモデルが少ないという家庭環境の中で生活している生徒たちが、他地区の学力に並び、自立した大人をめざすためには「夢をもつ」こと、「学力向上」が必須である。このような時代では、子どもたちがさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、さまざまな情報を見極め、知識の概念的な理解を実現して情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められている。その中で、3年間を見通した総合的な学習を行うことを通して、探究的な見方・考え方を働かせてよりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することは、これからの時代においてますます重要な役割を果たすものだと見える。

### (2) キャリア教育の視点から

キャリア教育とは、子供たちの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して「キャリア発達」（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程）を促す教育である。この「社会的・職業的に自立できる力」とは、保護家庭の多い本町にとっては特に重要であり、この町で生活するこれからの将来を模索している生徒たちにとって、学び合う機会をもつことは、生徒が自己の生き方を具体的、現実的なものとして考えることにつながる。また、このことは、自己の将来を力強く着実に切り拓いていこうとする資質・能力の育成において、極めて重要である。したがって、こうした課題を総合的な学習の時間の探究課題として取り上げ、具体的な学習活動としていくことには大きな意義があると考えられる。

### (3) 中学校学習指導要領(平成29年告示)「総合的な学習の時間」編から

総合的な学習の時間の目標は、「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。」ことにある。このことは、本学習「職業調べ」「職業人に学ぶ」「職場体験学習」の、「社会にある職業を知ること」「働くことの意義を考え、広く自分の進路を考えて、自己の生き方を考えていくこと」につながる。また、この目標には「実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができ

るようにする。」ともある。授業では、「この社会にある職業を調べ、さまざまな職業がこの社会をつくっていること」「職業人に対して、挨拶を行い、コミュニケーションがとれるようになること」「相手にふさわしいインタビューを考え、対話ができるようになること」「対話の中からさらに勤労への意欲を高めること」「調べ学習やインタビュー活動を通して得た知識を体験活動に生かすこと」「活動を通して職業観・勤労観・価値観を高めること」「夢に向かい、自分の能力向上をめざす意欲を喚起させること」を目指しており、求められている目標と合致するものとする。自らのキャリアを切りひらいていく上で必要な力を育て、その生き方を考えさせ、自分の将来に夢や希望をもたせるためにも大変有意義な学習であるとする。

### 3 主題の意味

「進路実現のための3年間の系統学習」とは、中学校3年間を見通し、生徒の発達段階に応じて進路に関わる学習内容を段階的かつ計画的に配置することで、自己理解と社会理解を深め、最終的に主体的な進路選択・決定へとつなげていく学習の在り方を指す。

この学習は、学年ごとに完結する単発的な取組や行事的な活動の積み重ねではなく、各学年の学習が相互に関連し、次の学年の学びへと発展するよう構成される点に特徴がある。すなわち、第1学年における社会や職業への関心の喚起、第2学年における進学と職業との関連理解、第3学年における具体的な進路選択と意思決定という段階的な深化を意図している。また、総合的な学習の時間を進路形成の中核として位置付けることで、教科横断的な視点や体験的な学習を通して、生徒が自ら課題を見だし、情報を収集・整理し、考えを深める力を育成することを重視している。これにより、生徒は将来の進路を「与えられるもの」としてではなく、「自ら考え、選択するもの」として捉えるようになる。

このように、「進路実現のための3年間の系統学習」とは、進路指導を一過性の指導や進学準備にとどめることなく、生徒の生き方や社会的・職業的な自立を見据えた継続的・発展的な学びとして構造化する。

### 4 研究の目標

本研究は、中学校3年間の総合的な学習の時間において、世の中を構成する多様な職業・職種の役割とその重要性を理解する活動を段階的かつ継続的に位置付けることにより、生徒が正しい勤労観を身に付け、将来の夢を育む職業観や生き方に対する価値観を形成するとともに、自己の能力向上を目指して主体的に努力しようとする意欲を喚起できるかを検証する。

### 5 研究仮説

世の中を構成する多様な職業・職種の役割とその重要性を理解する活動を体験すれば、正しい「勤労観」をつかみ、将来の夢を育む「職業観」、生き方に対する「価値観」を形成し、その能力向上をめざす意欲を喚起させることができるであろう。

### 6 研究の計画と活動の実際

## (1) 第1学年「職業調べ」

現在社会に存在する職業は、厚生労働省編職業分類では、18725種類が掲載されている。今後、人工知能（AI）の台頭により、その半数でロボットが活躍する時代が来るだろうとだろうともいわれている。「職業調べ」は、子どもたちが自分の興味や適性を理解し、将来の進路を考えていくための重要なステップである。職業調べを通じて、生徒たちは、自分のことを認識し、自分の特性に合った職業を選ぶための基礎を築くことができる。また、職業の内容や仕事の楽しさ、厳しさを理解し、職業に対する関心や意欲を高めることができる。また、進路選択の問題を自分自身の課題として受け止め、自らの生き方を考えることができるようになる。子どもたちが将来の夢や進路について考えるための第一歩である「職業調べ」を中学校第一学年に行うことは、これから始まるキャリア教育の一環として重要な役割を果たすと考える。

### ①ねらい

- 世の中を構成するさまざまな職業を知り、社会や会社における多様な職業・職種の役割とその重要性を理解する。
- 多様な職業や生き方に関する価値観を参考に、自分の価値観形成の参考となる情報を収集する。

### ②単元計画（8時間）

1	オリエンテーション・今年度の目標達成シート
2・3	社会を構成する職業・私たちが働く理由・自分の価値観・自分の将来・10年後の自分職業適性レディネス・テスト（ハローワークに依頼・準備）
4	自分の適性を知る。 職業適性レディネス・テスト結果記入
5・6	職業調べ（図書館・タブレット・）・プレゼンテーション資料作成
7・8	プレゼンテーション資料発表会・これらの生き方について（ふりかえり）

### ③活動の実際

#### [2時] 社会を構成する職業

- この世の中には、さまざまな職業があり、イラストに示された職業にはどんなものがあるか、グループで探す。世の中にあるすべての仕事自分たちの生活に関わっており、この世の中が働いてくださる人々のおかげで成り立っていることを確認できる。

#### [3・4時] 職業適性レディネス・テスト結果

- このテストでは1 職業興味（どのような分野・活動に心惹かれるか）2 基礎的志向性（仕事の基本的スタンスや価値観、3 職務遂行の自信度（どの分野の活動に「できる」と感じているか）の3つの内容である。例えば、 職業の興味は以下のように分類され、診断の結果、以下のような自分の適性にあうものが示される。

R（現実的）	モノ・道具・機会を扱う・具体的・実践的な思考	エンジニア・整備士・農家・調理師
I（研究的）	探求・調査・分析・科学的・論理的	科学者・研究者・医師・システムアナリス

		ト
A (芸術的)	創造的・独創的・感性・自己表現	デザイナー・音楽家・俳優・作家
S (社会的)	人に奉仕・手助け・教育・協調性	教師・カウンセラー・看護師・人事担当
E (企業的)	リーダーシップ・企画・説得・経営	経営者・営業課・コンサルタント・弁護士
C (慣習的)	ルール・手順・データ整理・正確性	公務員・経理・事務職・プログラマー

#### [ 5・6時] 職業調べ

- 上記の分類の中から自分の適性として示された職業を3つ選択し、「職業調べ」を行う。  
 (自分になりたい夢を持っていればその職業を調べてもよい。)タブレットや図書館の本で、次の項目は必須事項として、各自が選択した職業をしらべていく。次の項目を Canva (「キャンバ」は、オンラインツールで、ポスターやプレゼンテーション資料などを作成することができる。)にまとめる。

仕事の内容	どのような仕事をしているのか。具体的な仕事内容 など。
スケジュール	朝の出勤から退勤まで、どのようなスケジュールで働いているのか など。
資格や免許	この仕事をする上で、必要な免許や資格が必要か。あればどんな免許や資格か など。
職業への道筋	この仕事をするために、どのような進路を選択していけばよいか など。
年収や給料	毎月の給料はだいたいどのくらいか。仕事をする上で最もお金がかかることは など。
適性や学歴	どんな人が向いているか。どのような進路にすすめばなれるのか など。
仕事の意義	仕事へのやりがいや苦勞していること。努力していること など。

#### [ 7・8時] 発表会

- (出席順で5つの教室に分け、各学級の同じ出席番号の生徒がその教室へ集まる。学級全員の発表を聞く。次に、自分の作品はロイロノートで提出し、電子黒板に提示し、説明する。  
 (各2分の持ち時間で交替)
- 注意すること
- ①話し方(間のとりかた) ②声の大きさ ③姿勢  
 ④内容のわかりやすさ⑤発表の工夫(抑揚)
- 【発表する生徒】は①から⑤について注意しながら発表する。  
 【聞く生徒】は①から⑤の項目について採点する【5段階】

- 発表した内容は印刷して学年フロアへ掲示する。

さまざまなデザインを作成できる「Canva」(キャンバ)で編集しよう。  
 タブレット画面の左下の○を押し、「Google」画面から、「canva」を検索し、ダウンロードしよう。  
 「テンプレート」から「ポスター」を選択、ドラッグ&ドロップの簡単操作なので、  
 いろいろな機能を試してみよう。  
 ただし??(王冠マーク)は有料なので、選択しないこと。

\*こんなポイントで調べてみよう\*

**WILL** 職業観・生き方に関する価値観  
(企業・会社で大切にしている考え方・どんな仕事をしたいか)

多様な大人の職業や生き方に関する価値観を参考に自分の価値観形成の参考となる情報を収集する。

**MUST** 役者理解 (実際にどんな職業名に就いてどんな仕事をしているのか)

社会や会社における多様な職業・職種の役者とその重要性を理解する。

**CAN** 能力育成・知識獲得能力  
(その役割(仕事)を果たすために必要能力・資格・資質・技術・経験などの必要なのか)

職業における必要能力には、どのようなものがあるのかを理解する。

ポスターにのせてほしいもの

職業名  
 仕事内容  
 適性(どんな人が就いているか)  
 資格・免許(どんな資格が必要か)  
 その他(収入・やりがいなど)

【資料1 ワークシート① 一部抜粋】

(2) 第2学年「高校調べ」

「高校調べ」は、将来の進路を見通して中学校卒業後に進学する高校について調べる授業である。県内の県立・私立高等学校を調べ、発表会を行う。これをきっかけに生徒たちは、近い将来、受験することになる高校について真剣に考えはじめるようになる。

①ねらい

- 福岡県内・近隣の高等学校を調べることで、具体的な自分の進路を考えるきっかけにする。

②単元計画(8時間)

1	オリエンテーション・県内にある高校を知る・役割分担
2～4	高校調べ・プレゼン資料作成 (canva)
5～7	高校調べ発表会
8	まとめ・ふりかえり

### ③活動の実際

○私が調べる学校	
○調べる項目（班で役割分担し、決まったことをメモしよう）	
○調べる・まとめる ・各高校の web サイト ・「Classroom 2年O組」2024 高校リスト を活用して調べる。  ・CANVA プレゼンテーションを活用する。 例を参考に1項目に1ページで作成。 プレゼンテーション作成の注意点を意識する。	項目名
	内容
	写真など
	名前

【資料1 ワークシート② 一部抜粋】



### (3) 第2学年「職業人に学ぶ」【写真1 作成したプレゼン資料】

「職業人に学ぶ」とは、毎年、本町近郊で活躍されている多種多様な職業（業種・職種）の企業・団体の方をお招きして、中学校2学年の生徒の、職業のインタビュー活動のプログラムとして定着したものである。将来この川崎町で活躍する人材を育てることが地元の教育に携わる者の務めであるという思いと、身近に生き方を学ぶためのモデルの少ない生徒たちに、地元で懸命に働き、活躍する職業人と出会わせ、「働くモデル」を間近で見てもらいたいという思いからである。当日は、30組程度の講師（職業人）から直接お話を聞き、インタビューなどの対話活動を通して「職業の社会における役割・社会で必要な能力や意志」「多様な職業における職業の役割」「職業における必要な能力と職業」について考えさせる。普段は、聞くことができない自分の興味ある各職種の方々から直接話を聞いて「勤労の意義」「職業の役割とそれに必要な能力との関係」「自分の生き方」を考えさせ、自分の将来に夢や希望をもたせるための大切な活動となっている。

①ねらい

- 自分の生き方のモデルとなるさまざまな職業とそこで働くさまざまな方々のお話をうかがうことを通して自分を成長させるための夢や生き方を考える。
- インタビューの技術向上を通してコミュニケーション能力の育成を図る。

②単元計画（15時間）

1	オリエンテーション・将来の夢アンケート
2	職業人決定後、生徒アンケート
3～7	職業調べ・インタビュー内容作成
8	インタビュー動き方・挨拶練習
9～11	「職業人に学ぶ」交流授業
12・13	ふりかえり・お礼状作成
14・15	まとめ（掲示物）

③活動の実際

[1時] オリエンテーション

### 生徒オリエンテーション

職業・職種の社会における意志や役割を知り、職業・職種にはどのような能力が必要なのか学びます。さまざまな職業・職種で働いている人たちから、その努力や工夫について話を聞き、自分のこれからの生き方を考えるきっかけにしましょう！

◆自分を成長させるキーワード  
「意志」「役割」「能力」この3つがあなた自身を成長させることにつながります

**意志 (WILL)**  
目標・価値観  
自分の役割を果たすために心がけていること・大切にしている考え方

**役割 (MUST)**  
自分が果たすべき役割（職種）

**能力 (CAN)** ○  
役割を果たすために求められる能力 その果たすべき役割と自分の能力のギャップを明確にする

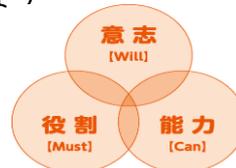
[3～7時] 職業調べ・インタビュー内容作成 **【資料2、ワークシート② 一部抜粋】**

# ◆ 職業人の「職種」に関する質問を考えよう

\*このシートはあなたの「職業人」ファイルへ入れましょう

- < 質問を考えるヒント >
- ・ 仕事内容 ・ 中学校のころの夢
  - ・ 仕事に対して感じる喜びや苦しみ
  - ・ 工夫、努力・知識、技術

「役割」MUSTにつながる質問  
▼実際にどんな職業(名)に就いてどんな仕事をしているのか。



「意志」WILL (=い)方)につながる質問  
企業・会社が大切にしている方・どんな仕事をしたいたのか。

「能力」CANにつながるその役割(仕事)を果たすために必要な能力・資格・資経験は？

## 事前学習用シート

職種(個人)としての「意志」「役割」「能力」

職業名・インタビューする人

<b>「意志」</b> <b>WILL</b> (=理念・考え方)につながる質問 企業・会社が大切にしている考え方・どんな仕事をしたいと思っていたのか。	自分が考えた質問 ここにたくさんの質問を考えよう。	再考した質問 友達の意見を聞き、自分の質問を修正しよう。
	ほかの人の質問    ほかの人の質問も書いておこう	

<b>「役割」</b> <b>MUST</b> につながる質問 実際にどんな職業(名)に就いてどんな仕事をしているのか。	自分が考えた質問	再考した質問
	ほかの人の質問	

<b>「能力」</b> <b>CAN</b> につながる質問 その役割(仕事)を果たすために必要な能力・資格・資質・技術・経験は？	自分が考えた質問	再考した質問
	ほかの人の質問	

[9～11時] 「職業人に学ぶ」交流授業

- 職業人参加人数：30組
- インタビューグループ：15分×4回分

生徒の希望を参考にそれぞれインタビューグループで活動する

- 会場：体育館

時間	内容	
09:00	1校時 ①心構え②自分のインタビュー相手・経路確認③挨拶練習	
09:35 09:45	トイレをすませる。自分のファイル(タブレット)をもち、学級ごと体育館へ入場 (ステージ前に、学級ごと横一列で並ぶ。ステージ前から2の1 2の2 2の3順)	
09:45 10:05	2校時開始 開会行事 ①生徒へ趣旨説明②職業人紹介③全体挨拶(校長) 計20分間	
10:05 挨拶1分 対話12分 メモ1分 移動30秒	<b>第1回交流開始</b> ①生徒挨拶・職業人自己紹介(1分間) ②生徒インタビュー・目を見て対話重視(11～12分間程度) ③生徒メモにまとめる(1分程度) ④挨拶して次の職業人へ移動(30秒程度) 計15分間	
10:20 10:35	<b>第2回交流開始</b> 移動開始 計15分間	
10:35 10:45	トイレ休憩10分	
10:45 11:00	<b>第3回交流</b> 計15分間	
11:00 11:15	<b>第4回交流</b> 計15分間	
11:15 11:25	全員で椅子片付け 職業人はステージ前へ集合 (職員は職業人用のイスをステージ前へ運び、職業人の方々にすわっていただく) 2階から全体写真撮影 計10分間	
11:25 11:35	○閉会行事 生徒：開会式と同じ隊形で職業人の方々の前に座る。 1ふりかえり 2質疑応答 3 お礼の言葉(生徒会長) 4 お見送り 生徒両サイドに分かれ、花道をつくって職業人をお見送り。会議室へご案内 ○生徒各学級へ 計10分間	
11:45 12:30 (45分)	4校時 ※学級にて振り返り ※キャンバにまとめ	11:35～12:00  職業人意見交流会(会議室) 模造紙3枚・付箋紙(色3種類) ホワイトボード2台・ペン・飲み物準備  計25分間
13:15 14:00 (45分)	5校時 第2学年 ※イス・シート片付け ※キャンバ・まとめ	

【資料3



【写真2 インタビューの様子①】

【写真3 インタビューの様子②】



【写真4 インタビューの様子③】



【写真5 全参加者】

#### (4) 第3学年「職場体験学習」

「職場体験学習」は、中学校2年次にお話を伺った「職業人」の方々の実際の職場へ伺い実際にその仕事を体験させていただく活動である。生徒たちは本町近郊でご活躍の職業人の事業所へ数日間通い、「職場体験学習」を行う。昨年度お話を聞かせていただいた仕事内容を実際に体験させていただくことで、「職業」に対しての楽しさ、厳しさ、その事業の深さを本当の意味で理解することができる活動になっている。

##### ①ねらい

- 勤労の大切さやその意義などの勤労観・将来の夢を育む職業観・生き方に対する価値観を育成する。

##### ②単元計画（20時間）



1	オリエンテーション・働くとは
2	職場体験先アンケート・調べ学習
3・4	職場体験先について調べ学習
5～16	職場体験

17・18	お礼状作成
19・20	活動のまとめ

### ③活動の実際

#### 1 オリエンテーション

<p><b>職場体験学習の目的</b></p> <p>①働くことの意義、やりがい、苦勞を体験する。</p> <p>②将来の職業選択に向けての視野を広げる。</p> <p>③社会人としての言葉遣いや態度、マナーを身に付ける。</p>	<p>① <u>身だしなみ</u></p> <p>○TPOに合わせた服装を!!</p> <p>○清潔感を保って人に不快感を与えないように!!</p>	<p>② <u>笑顔(表情)</u></p> <p>笑顔でいると、、、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションがとりやすい</li> <li>・好感がもちやすい</li> <li>・話しやすい雰囲気</li> </ul>
<p>⑤ <u>言葉遣い</u></p> <p>○職場ではどんな言葉を使う?</p> <p style="text-align: center;"><b>敬語</b></p> <p style="text-align: center;">↓ ↓ ↓</p> <p>尊敬語   謙譲語   丁寧語</p>	<p>職場体験学習を通して、 多くのことに<b>チャレンジ</b>し、 <b>将来への視野(可能性)</b> を広げよう!!</p>	<p>【資料4 プレゼンスライド 一部】</p>

[5~16時] 職場体験の様子



【写真6 活動の様子①】



【写真7 活動の様子②】



【写真8 活動の様子③】



【写真9 活動の様子④】



【写真10 活動の様子⑤】



【写真 11 活動の様子⑥】



【写真 12 活動の様子⑦】



【写真 13 職場体験の報告書】

[職場体験学習 評価について]

川崎中学校では令和七年度の研究主題「生徒にとって「安全・安心」な居場所づくり・絆づくりの充実をめざす学校づくり」にとり組んだ。「川崎中OSR」を位置づけた教育活動を通した「ふりかえり」を実施している。「川崎中OSR」とは、生徒が学校生活における多様な他者との関わりや学び合いの経験を通して、学ぶこと、生きること、働くことなどの価値や課題を見いだす過程において、Outlook（見通しを持つ）Support（支援を求める）、Reflection（振り返る）の3視点を持って教師が生徒を支援する教育活動のことである。各活動で「ふりかえり」を行い、自己評価を行っている。

キャリア教育「基礎的・汎用的能力」 社会・職業的に自立するために必要な基盤となる能力		年	組	番	氏名			
A 人間関係形成・社会形成能力	B 自己理解・自己管理能力	C 課題対応能力		D キャリア・プランニング能力				
川崎 OSR R リフレクション 「非認知能力」(コミュニケーションや意欲、忍耐力など数値で測りにくい能力)の向上をめざそう。＝ 自己肯定感や共感的人間関係の高まりへ								
※ 他者につながる (共感力) 他者の気持ちを考え、思いやる力 (協調力) 他者と協力し、チームワークを発揮する力 (コミュニケーション力) 自分の考えをわかりやすく伝え、相手の考えも聞く力	※ 自分とつながる (目標達成力) 目標を立てて努力する力 (自己制御力) 感情をコントロールする力	※ 自分や教材とつながる (成長志向) 失敗から学ぶ姿勢 (課題対応力・粘り強さ) 困難な課題に対して粘り強く考え続ける力		※ 自分や教材とつながる (探求心) 新しいことに興味をもつ力 (創造力) 自分なりの新しい視点を持つ、創造的に考える力				
取組日時	令和 ～ 年 月 日	取組名						
取り組 み前	目標 ○この取り組みの目標							
取り組 み後	手立て・工夫 ○上の目標を達成するためにどんなことを行いたいですか。							
自己評 価	努力したこと ○あなたが目標を達成するために自分自身や他者との関係、教材、目標達成のために努力したこと・工夫したことは何ですか。							
	感想 ○この活動を通して自分にどんな変化がありましたか？(上の表を参考に考えてみよう。)全体を通して感想をかきましょう。							
	自己評価 ○5段階の自己評価をしましょう。 5 十分頑張った ← できなかった 1	数値 5～1記入	○をつける	5	4	3	2	1

【資料5 自己評価表】

## 7 成果と今後の課題

生徒たちは3年間を通して、世の中を構成するさまざまな職業を知り、社会や会社における多様な職業・職種の役割とその重要性を理解してきた。また、多様な職業や生き方を参考に自分の価値観形成の参考となる情報を収集して、自分の進路や生き方を考え始めている。今後の課題は、将来に必要なコミュニケーション能力や職業における必要な能力向上への意欲を喚起すること、さらに「学力」についても日常生活の中で向上させていく努力が必要である。そうして各生徒が進路実現を果たしていくことを期待している。